F-2-3-1

LGPKI 証明書利用者の手引
(LGWAN-ASP サービス提供者編)

第 2.5 版

平成 29 年 7 月 3 日

地方公共団体情報システム機構

改 訂 履 歴

項番	年月日	主な改訂内容
1	平成２６年４月１日	地方公共団体情報システム機構への承継に伴う改訂
2	平成２６年９月１６日	LGPKI 組織体制に係る説明の見直し 「３　証明書の発行申請」及び「付録Ｄ　ハードウェアトークン」鍵格納媒体に係る記載内容の見直し
3	平成２７年１月２６日	アプリケーション認証局（第三世代）の運用開始に伴う改訂（関連規程類の追加、鍵長等） その他記載内容の見直し
4	平成２７年４月１日	「２　証明書利用情報登録・変更」、「３証明書発行申請方法」及び「６　申請書の記入要領」 申請書類の送付方法及び返信用切手料金の見直し
5	平成２７年７月１７日	コードサイニング証明書を格納可能な鍵格納媒体の追加に係る記載内容の見直し
6	平成２９年７月３日	アプリケーション認証局（第四世代）の運用開始に伴う改訂 その他記載内容の見直し

目　次

はじめに 1

1　概要 2

1．1 証明書利用情報登録・変更 2
1．2 発行申請 2
1．3 更新申請 2
1．4 失効申請 2

2　証明書利用情報登録・変更 3

2．1 証明書利用情報登録申請書類 3
2．2 証明書利用情報登録申請書類の記入事項 3
2．3 証明書利用情報登録申請書類の提出方法 3
2．4 証明書利用情報登録に係る審査 3
2．5 審査完了後の通知方法 3

3　証明書の発行申請 4

3．1 発行申請書類 4
3．1．1 Web サーバ証明書の証明書発行要求 4
3．1．2 Web サーバ証明書の事前協議 5
3．1．3 コードサイニング証明書の CSR 5
3．2 発行申請書類の記入事項 6
3．3 発行申請書類の提出方法 7
3．4 証明書の発行 7
3．5 証明書の配付方法 7

4　証明書の更新申請 8

4．1 更新申請書類 8
4．2 更新申請書類の記入事項 8
4．3 更新申請書類の提出方法 8
4．4 証明書の更新 8
4．5 証明書の配付方法 8

5　証明書の失効申請 9

5．1 失効申請書類 9
5．2 失効申請書類の記入事項 9
5．3 失効申請書類の提出方法 9
5．4 証明書の失効 9
5．5 失効通知 9
5．6 証明書の再発行 9

6　申請書の記入要領.....10

6. 1 証明書利用情報登録変更申請書.....11
6. 2 証明書発行申請書.....13

付録 B　WEB サーバ証明書及びコードサイニング証明書発行における CSR ファイルについて.....28

付録 C　アプリケーション証明書利用可能アプリケーション.....29

C-1 署名ツール.....29

はじめに

総合行政ネットワーク運営主体（以下「運営主体」という。）が運営する LGPKI アプリケーション認証局は、総合行政ネットワーク ASP 基本要綱に定める LGWAN-ASP サービス提供者（以下「ASP サービス提供者」という。）への提供を行っています。

本文書（以下「利用者の手引」という。）は、この証明書を利用するために必要な発行申請の手続き、並びに発行された証明書の更新及び失効の手続きを説明するものです。

各種申請は、本利用者の手引に従い行ってください。また、以下の CP/CPS について十分にその内容を理解し（※1）、同意した上で申請してください。CP/CPS は、公開 Web サーバ（http://www.lgpki.jp/）より入手してください。

・LGPKI アプリケーション認証局 G3 (Root) CP/CPS（C-6-3-7）
・LGPKI アプリケーション認証局 G3 (Sub) CP/CPS（C-6-3-8）
・LGPKI アプリケーション認証局 G4 (Root) CP/CPS（C-6-3-9）
・LGPKI アプリケーション認証局 G4 (Sub) CP/CPS（C-6-3-10）

（※1）証明書利用者の義務については、特に留意してお読みください。

本利用者の手引で説明するのは、運営主体の登録局の受付窓口（以下「ASP 等審査部門」という。）と証明書利用者間の申請及び証明書の入手手続きです。（図 1-1 の赤枠部分になります）

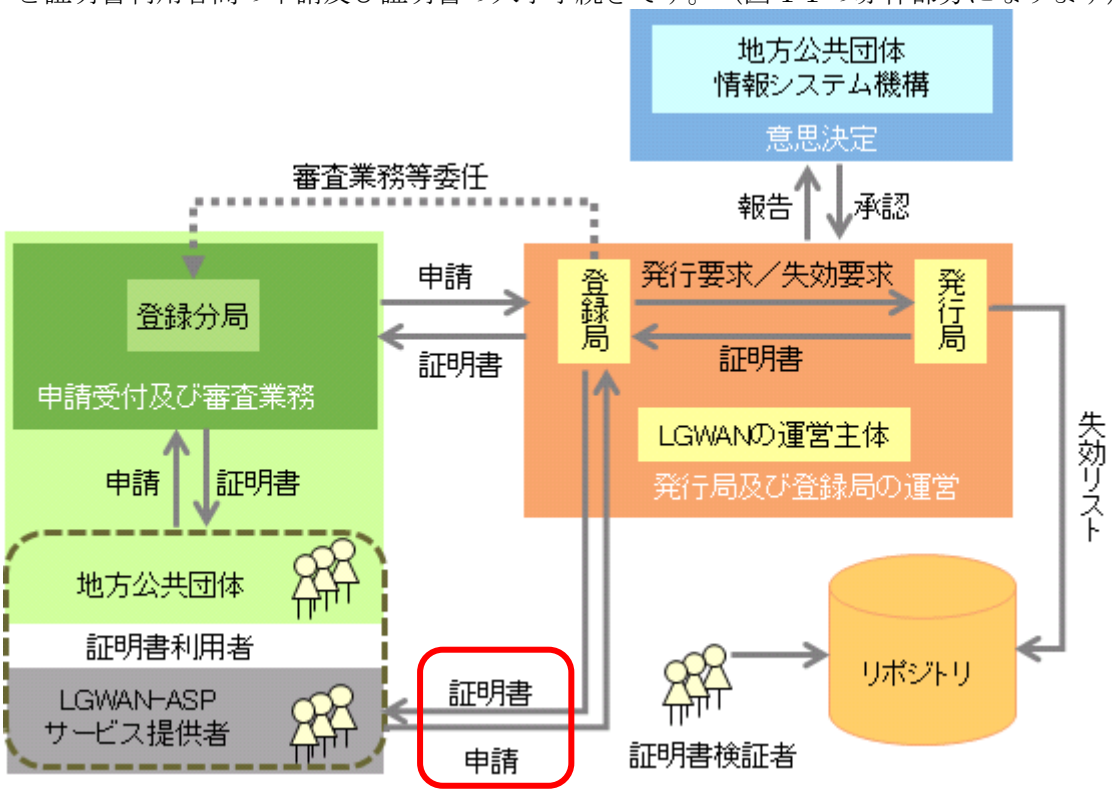

図 1-1 組織と体制

１　概要

LGPKI アプリケーション認証局は、以下の証明書を提供します。

表 1-1 証明書の種類

認証局	証明書	用途
LGPKI アプリケーション認証局	Web サーバ証明書	地方公共団体に対する ASP サービスを行う Web サーバに適用し、SSL 通信等の暗号通信に使用する。（※3）
	コードサイニング証明書（※2）	地方公共団体へ配布するプログラム等への電子署名に使用する。（※3）

（※2）利用可能なアプリケーションについては、付録 C を参照してください。
（※3）LGWAN に閉じた ASP サービスを行う場合に限ります。

証明書利用者は、表 1-1 に従い適切な証明書の発行を申請してください。また、必要に応じて証明書の更新及び失効を申請してください。

各申請は、LGWAN-ASP ホスティングサービス提供者（以下「申請者」という。）に限ります。

１．１　証明書利用情報登録・変更

証明書利用者は、認証局に対して証明書の発行申請を行う前に、ASP 等審査部門に証明書利用情報登録を行う必要があります。

１．２　発行申請

発行申請は、新規に証明書を利用する場合または、証明書失効後に再発行を希望する場合に行います。認証局は、証明書の発行申請を受け付けて証明書を発行します。

１．３　更新申請

更新申請は、証明書の有効期限満了後も証明書を継続して利用する場合に行います。有効期限満了の 6 ヶ月前より可能です。

１．４　失効申請

失効申請は、利用している証明書、又は鍵格納媒体が以下に該当する場合に行います。

・秘密鍵の危殆化
　（例）鍵格納媒体の紛失・盗難、PIN の漏えい
・証明書記載事項の変更
　（例）組織名の変更
・鍵格納媒体の不良、破損
　（例）鍵格納媒体のロック、鍵格納媒体が折れた
・証明書の利用停止
　（例）証明書を利用する業務が無くなった、組織の廃止

２　証明書利用情報登録・変更

本章では、証明書利用情報登録に必要なもの（以下「証明書利用情報登録申請書類」という。）、証明書利用情報登録申請書類の記入事項、証明書利用情報登録申請書類の提出方法及び証明書利用情報登録通知の配付方法を以下に説明します。

なお、証明書利用情報変更の場合は、「証明書利用情報登録」を「証明書利用情報変更」と読み替えてください。

２．１　証明書利用情報登録申請書類

証明書利用情報登録には、証明書利用情報登録申請書類として証明書利用情報登録変更申請書が必要です。

２．２　証明書利用情報登録申請書類の記入事項

証明書利用情報登録変更申請書の記入事項については、本利用者の手引「6.1 証明書利用情報登録変更申請書」の記入要領を参照してください。ここでは、証明書利用情報記載事項の記入規則及び記入例を示します。なお、証明書利用情報登録変更申請書は、申請者が記入してください。

２．３　証明書利用情報登録申請書類の提出方法

発送用封筒に、証明書利用情報登録申請書類、返信用封筒及び切手（一般書留郵便料金相当[1]）を封入して、ASP 等審査部門に一般書留郵便で郵送してください。

【ASP 等審査部門】
〒102-8419
東京都千代田区一番町 25
地方公共団体情報システム機構
総合行政ネットワーク全国センター
ASP-PKI 受付担当者

２．４　証明書利用情報登録に係る審査

ASP 等審査部門は、証明書利用情報登録申請を受け付けた後、審査を実施します。ASP 等審査部門は、審査に問題がなかった場合のみ、証明書利用情報を登録します。

２．５　審査完了後の通知方法

審査完了後、ASP 等審査部門の受付担当者より結果通知が配付されます。

[1] 証明書の発行等申請と同時に申請する場合は、配達証明付一般書留郵便分の切手を封入してください。

３　証明書の発行申請

本章では、証明書の発行申請に必要なもの（以下「発行申請書類」という。）、発行申請書類の記入事項、発行申請書類の提出方法及び証明書の配付方法を以下に説明します。

証明書の発行申請の概要を図 2-1 に示します。

鍵格納媒体については、「総合行政ネットワーク ASP 接続技術仕様書（G-1-1-1）」を確認し、申請者自身が調達してください。

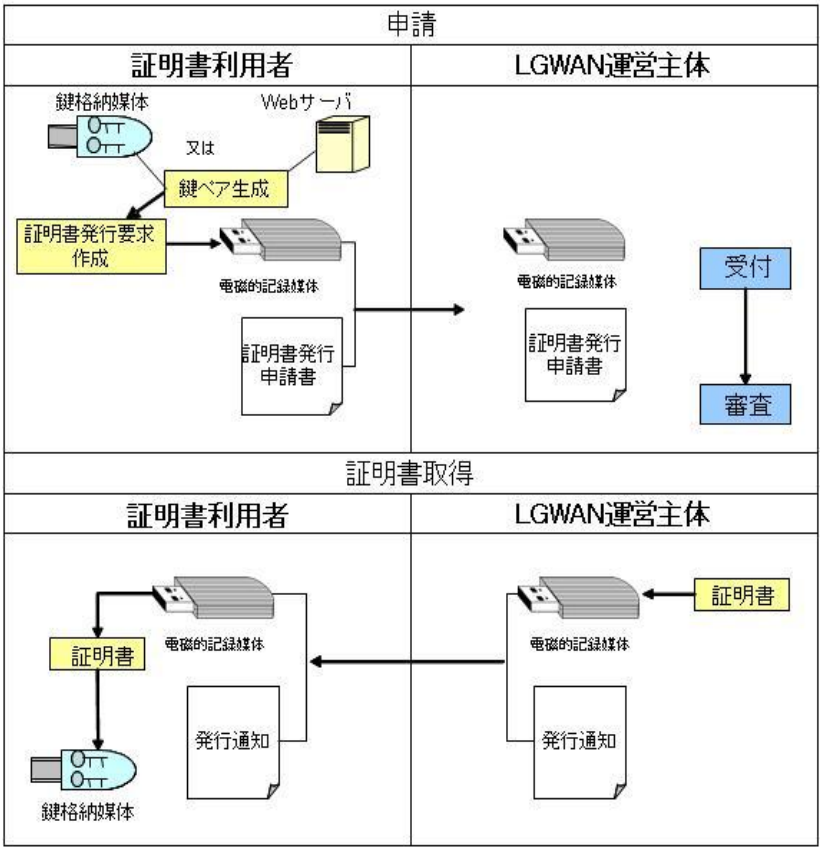

図 2-1 発行申請の概要

３．１　発行申請書類

発行申請には、発行申請書類として証明書発行申請書と証明書発行要求が必要です。

３．１．１　Web サーバ証明書の証明書発行要求

Web サーバ証明書の CSR のファイル名には、英数字（A～Z,a～z,0～9）のみ使用してください。

Web サーバ証明書の CSR に設定する内容を以下に示します。

表 2-1 CSR の設定内容

項目	設定内容	設定値
C（国）	国コードをそのまま指定。	JP（固定）
ST 又は S（都道府県）	指定しない。省略不可の場合は、”LGWAN-ASP”を固定で指定。	
L（市区町村）	指定しない。省略不可の場合は、”LGWAN-ASP”を固定で指定。	
O（組織）	”LGWAN- ASP”を固定で指定。	LGWAN- ASP（固定）
OU（部門）	指定しない。省略不可の場合は、参加資格審査申込書（変更届出書）の組織名を指定。	組織名-枝番
CN（一般名）	サーバの完全修飾ドメイン名(FQDN)を指定。 ※ 一つの FQDN に対して、複数の Web サーバ証明書を発行する場合は、OU（部門）の情報に枝番（1 から始まる自然数）を付与して、区別する。	www.xxx.asp.lgwan.jp（例）

３．１．２ Web サーバ証明書の事前協議

Web サーバ証明書の発行に必要な CSR 作成に関しては､証明書利用者が実施するものであり、認証局は個別のサーバアプリケーションごとの設定方法、CSR 作成方法について、一切関知しません。ただし、申請から発行までを円滑に実施するために、Web サーバ機器が適切な CSR を作成し、発行された証明書を組み込めることを事前に確認することを推奨します。事前確認用の発行申請は、以下の①～⑧の情報をテキストファイルに記入し、電子メールに添付して送付してください。

①申込組織名
②LGWAN-ASP コード
③登録番号
（証明書利用情報登録完了通知書に記載）
④代表者氏名
⑤使用する Web サーバソフトウェアの名称
⑥使用する Web サーバ機器の機種
⑦使用する Web サーバ機器の設置場所
（LGWAN 接続ルータと同一ファシリティにあるか否か）
⑧CSR（CSR に設定するサブジェクトは、本利用者の手引「3.2 発行申請書類の記入事項」を参照してください。また、CSR は、テキストファイルに貼り付けてください。）

事前協議電子メール送付先：lgwan-asp@j-lis.go.jp
（電子メールの件名の先頭に【LGWAN-ASP 証明書事前協議】と記入してください）

運営主体では、申請データを元に評価用認証局から評価用 Web サーバ証明書を発行します。発行した評価用 Web サーバ証明書は、電子メールにて送付しますので、Web サーバ機器に組み込めることを確認した後、正式な申請を行ってください。

３．１．３ コードサイニング証明書の CSR

コードサイニング証明書の CSR のファイル名には、英数字（A～Z,a～z,0～9）のみ使用してください。

コードサイニング証明書の CSR に設定する内容を以下に示します。

表 2-2 コードサイニング証明書の CSR の設定内容

項目	設定内容	設定値
C（国）	国コードをそのまま指定。	JP（固定）
ST 又は S（都道府県）	指定しない。省略不可の場合は、”LGWAN-ASP”を固定で指定。	
L（市区町村）	指定しない。省略不可の場合は、”LGWAN-ASP”を固定で指定。	
O（組織）	”LGWAN- ASP”を固定で指定。	LGWAN- ASP（固定）
OU（部門）	指定しない。省略不可の場合は、参加資格審査申込書（変更届出書）の組織名を指定。	組織名
CN（一般名）	コード管理責任者を表す「CodeAdmin of xxx」を指定。（xxx には、事業者名等を記入）	CodeAdmin of xxx（例）

３．２　発行申請書類の記入事項

証明書発行申請書の記入事項については、本利用者の手引「6.2 証明書発行申請書」の記入要領を参照してください。ここでは、証明書記載事項の記入例を示します。なお、証明書発行申請書は、申請者が記入してください。

【例 1】Web サーバ証明書の場合

Web サーバ機器において、「C（国）=JP、ST 又は S（都道府県）=なし、L（市区町村）=なし、O（組織）=LGWAN-ASP、OU（部門）=なし、CN（一般名）=www.xxx.asp.lgwan.jp」の情報で CSR を作成した場合は、以下のように記入してください。

証明書記載事項	
一般名（CN）	www.xxx.asp.lgwan.jp
部門（OU）	

【例 2】Web サーバ証明書の場合

Web サーバ機器において、「C（国）=JP、ST 又は S（都道府県）=なし、L（市区町村）=なし、O（組織）=LGWAN-ASP、OU（部門）=LGWAN Zenkoku Center、CN（一般名）=www.xxx.asp.lgwan.jp」の情報で CSR を作成した場合は、以下のように記入してください。

証明書記載事項	
一般名（CN）	www.xxx.asp.lgwan.jp
部門（OU）	LGWAN Zenkoku Center

また、一つの FQDN に対して、複数の Web サーバ証明書を発行する場合は、OU（部門）の情報に枝番（1 から始まる自然数）を付与して、区別をしてください。

証明書記載事項	
一般名（CN）	www.xxx.asp.lgwan.jp
部門（OU）	LGWAN Zenkoku Center-1

証明書記載事項	
一般名（CN）	www.xxx.asp.lgwan.jp
部門（OU）	LGWAN Zenkoku Center-2

【例 3】コードサイニング証明書の場合

「C(国)=JP、ST 又は S(都道府県)=なし、L(市区町村)=なし、O(組織)=LGWAN-ASP、OU（部門）=なし、CN（一般名）= CodeAdmin of ×××」の情報で CSR を作成した場合は、以下のように記入してください。

証明書記載事項	
一般名（CN）	CodeAdmin of ××× （※4）
部門（OU）	

（※4）×××は事業者名等

３．３　発行申請書類の提出方法

発送用封筒に、発行申請書類、返信用封筒及び切手（配達証明付一般書留郵便料金相当）を封入して、ASP 等審査部門に配達証明付一般書留郵便で郵送してください。なお、提出書類として CSR を添付する場合は、USB メモリ又はフロッピーディスク（以下「電磁的記録媒体」という。）に格納して提出してください。

【ASP 等審査部門】

〒102-8419
東京都千代田区一番町 25
地方公共団体情報システム機構
総合行政ネットワーク全国センター
ASP-PKI 受付担当者

３．４　証明書の発行

ASP 等審査部門は、発行申請を受け付けた後、審査を実施します。審査に問題がなかった場合のみ、証明書を発行します。なお、証明書の発行には、約２週間の期間が必要ですので、余裕をもって申請を行ってください。

３．５　証明書の配付方法

発行された証明書は、ASP 等審査部門の受付担当者より配付されます。証明書の配付は、郵送で行われ、配付されるものは発行通知、証明書を格納した電磁的記録媒体です。

４　証明書の更新申請

本章では、証明書の更新申請に必要なもの（以下「更新申請書類」という。）、更新申請書類の記入事項、更新申請書類の提出方法及び証明書の配付方法を以下に説明します。

証明書の更新申請の概要は、本利用者の手引「3 証明書の発行申請」にある図を参照してください。この場合、「発行申請書類」とあるのは「更新申請書類」と、「発行通知」とあるのは「更新通知」と読み替えてください

４．１　更新申請書類

本利用者の手引「3.1 発行申請書類」と同様の手続きを行ってください。この場合、以下のように読み替えてください。

・発行申請書類　→　更新申請書類
・発行申請　→　更新申請
・証明書発行申請書　→　証明書更新申請書

４．２　更新申請書類の記入事項

証明書更新申請書の記入事項については、本利用者の手引「6.3 証明書更新申請書」の記入要領を参照してください。なお、証明書更新申請書は、申請者が記入してください。

４．３　更新申請書類の提出方法

本利用者の手引「3.3 発行申請書類の提出方法」と同様の手続きを行ってください。この場合、「発行申請書類」とあるのは「更新申請書類」と読み替えてください。

４．４　証明書の更新

ASP 等審査部門は、更新申請を受け付けた後、審査を実施します。審査に問題がなかった場合のみ、証明書を発行します。なお、証明書の更新には、約２週間の期間が必要ですので、余裕をもって申請を行ってください。

４．５　証明書の配付方法

本利用者の手引「3.5 証明書の配付方法」と同様に配付されます。この場合、「発行通知」とあるのは「更新通知」と読み替えてください。

５　証明書の失効申請

本章では、証明書の失効申請に必要なもの（以下「失効申請書類」という。）、失効申請書類の記入事項及び失効申請書類の提出方法等を以下に説明します。

証明書の失効申請の概要を図 4-1 に示します。

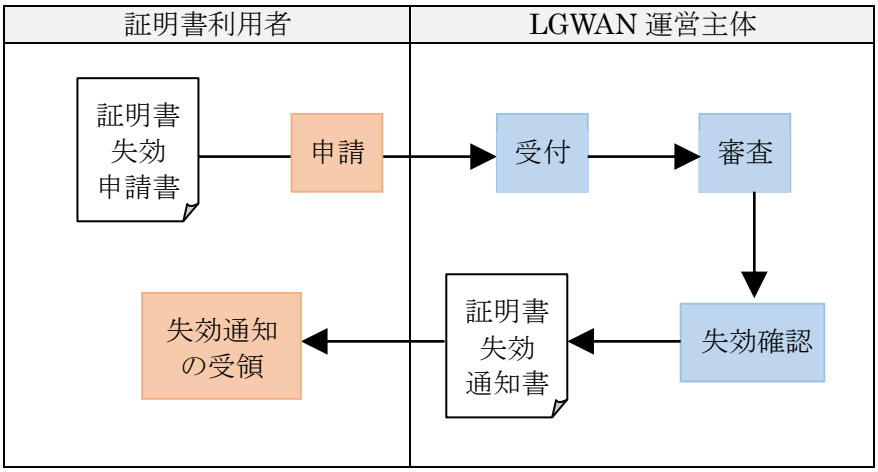

図 4-1 失効申請の概要

５．１　失効申請書類

失効申請には、失効申請書類として証明書失効申請書が必要です。

５．２　失効申請書類の記入事項

証明書失効申請書の記入事項については、本利用者の手引「6.4 証明書失効申請書」の記入要領を参照してください。なお、証明書失効申請書は、申請者が記入してください。

５．３　失効申請書類の提出方法

本利用者の手引「3.3 発行申請書類の提出方法」と同様の手続きを行ってください。この場合、「発行申請書類」とあるのは「失効申請書類」と読み替えてください。

５．４　証明書の失効

ASP 等審査部門は、失効申請を受け付けた後、審査を実施します。審査に問題がなかった場合のみ、証明書を失効します。

認証局は、失効情報を登録した CRL を、リポジトリ及び Web サーバで公開します。

５．５　失効通知

ASP 等審査部門は、証明書の失効完了後に失効通知を証明書利用者へ送付します。証明書利用者は、失効通知受取後、証明書、又は鍵格納媒体を廃棄してください。

５．６　証明書の再発行

証明書の失効後に、証明書の再発行を希望する場合は、証明書の失効申請時に再発行を申し込むことができます。

証明書の失効申請時に証明書の再発行を申し込む場合は、証明書失効申請書の記入時、再発行欄で再発行有りをチェックし、証明書発行申請書を添付して申請を行ってください。（※5）

（※5）「証明書記載事項の変更」が失効事由の場合は、証明書失効申請書に旧記載事項、証明書発行申請書に新記載事項を記入してください。

６　申請書の記入要領

各申請書の記入要領を以下に示します。

証明書に記載できる半角文字には制限があります。使用可能な半角文字については、付録 A を参照し、各申請書の記入を行ってください。

６．１　証明書利用情報登録変更申請書

（*は、証明書の種類にかかわらず必須項目です。）

証明書利用情報登録変更申請書　　第７号様式

受付番号：

LGWAN-ASP コード①*	

登録申請日②*	平成　　年　　月　　日

項番	項　　目		記　入　箇　所		変更
1	組織名　③*				□
2	代表者④*	職名			□
					□
		フリガナ			□
		氏名			□
		電話番号(緊急時)			□
		FAX 番号			□
		代表者印	（変更前）⑤*	（変更後）	□
3	管理責任者⑥*	所属			□
		職名			□
		フリガナ			□
		氏名			□
		電話番号			□
		FAX 番号			□
		E-mail			□
4	コールバック先の代表者(代理) ⑦*	代理者名			□
		所属			□
		電話番号			□
		電話番号(緊急時)			□
5	証明書等の送付先情報⑧*	郵便番号			□
		住所			□
		受取担当者名			□
		電話番号			□
6	添付書類⑨*				□
					□

確認欄　⑩*

項番	項目	確認
(1)	証明書利用情報登録変更申請書	□
(2)	返信用封筒及び返信用切手（一般書留郵便料金相当）	□
(3)	添付書類	□

① 運営主体から付与された LGWAN-ASP コードを記入してください。
② 申請日を記入してください。
③ 組織名を記入してください。
④ 代表者の情報を記入してください。
⑤ 登記印を押してください。
⑥ 管理責任者の情報を記入してください。
⑦ コールバック先の代表者（代理）の情報を記入してください。
⑧ 証明書等の送付先を記入してください。
⑨ 委任状等の添付書類がある場合は、添付書類を記入してください。
⑩ 申請書を送付する前に、提出書類・申請内容に不備がないかご確認をお願いします。

６．２　証明書発行申請書

(1) 証明書発行申請書の記入要領（*は、証明書の種類にかかわらず必須項目です。）
Web サーバ証明書、コードサイニング証明書の場合

第 8 号様式

受付番号:

[LGWAN-ASP サービス提供者の証明書利用者用]

証明書　発行申請書

①*

ASP 等審査部門宛　　申請日　　年　月　日

代表者印
④*

LGWAN-ASP コード②*	A						
登録番号③*	AN						

証明書の種類　⑤*	□ Web サーバ証明書　　□ コードサイニング証明書

申請者情報	
組織名	⑥*
代表者氏名	⑦*
管理責任者氏名	⑧*

証明書記載事項	
一般名（CN）	⑨*
部門（OU）	⑩

備考欄

⑪

発行通知

(宛先) 申請者

上記のとおり、証明書を発行しました。
発行日　　年　　月　　日
シリアル番号:
ASP 等審査部門責任者　　印

① 証明書発行申請書の記載日を記入してください。
② 運営主体から付与された LGWAN-ASP コードを記入してください。
③ 証明書利用情報登録完了通知書に記載されている登録番号を記入してください。なお、証明書利用情報登録変更申請書（第 7 号様式）と同時に提出する場合は空欄で構いません。
④ 証明書利用情報登録申請時に登録した印影と同じ印を押印してください。
⑤ 証明書の種類は、下記のとおり記入してください。
・申請する証明書の種類をチェックしてください。
・申請する証明書の種類は、1 つだけとしてください。
⑥ 組織名を記入してください。
⑦ 証明書利用情報登録申請書に記入した代表者の氏名を記入してください。
⑧ 証明書利用情報登録申請書に記入した管理責任者の氏名を記入してください。
⑨ 証明書記載事項の一般名は、下記のとおり記入してください。
・申請する証明書の種類が Web サーバ証明書の場合は、サーバの完全修飾ドメイン名（FQDN）を英字で記入してください。
・申請する証明書の種類がコードサイニング証明書の場合は、付録Ｂの内容を確認した上で、コード管理責任者を表す「CodeAdmin of xxx」を記入してください。（xxx には、事業者名等を英字で記入してください。（注 1））また、組織名、アプリケーション名も任意で記入できます。（注 2）
【例】CodeAdmin of xxx ItToukatsu A System
（ItToukatsu が組織名、A System がアプリケーション名を示します。）
・文字数は、半角 64 文字以内で記入してください。（注 3）
⑩ 証明書記載事項の部門は、下記のとおり記入してください。
・CSR 作成時に指定した部門（OU）の情報を英字で記入してください。（注 4）
・文字数は、半角 64 文字以内で記入してください。（注 3）
⑪ 連絡事項等がある場合は、この欄に記入してください。

(注 1)コード管理責任者の表記は、特段の理由がない限り「CodeAdmin」固定としてください。
(注 2)文字の前後に空白を記入した場合、空白は文字として扱いません。
文字中に空白を記入した場合、空白は文字として扱います。
(注 3)記入欄に書ききれない場合は、別紙に記入して証明書発行申請書に添付してください。
【例】
証明書発行申請書

証明書記載事項	
一般名（CN）	別紙参照

別紙

一般名：www.○○○○○○△△△△△△×××××××.lgwan.jp

(注 4) 参加資格審査申込書（変更届出書）の組織名英文と同じであることを確認してください。

(2) 証明書発行申請書の記載例

記載例をそのまま記入して申請しないよう、注意してください。

(a) Web サーバ証明書を申請する場合の記載例

第 8 号様式

受付番号:

この欄に申請者は、記入しないでください。

[LGWAN-ASP サービス提供者の証明書利用者用]

証明書　発行申請書

ASP 等審査部門宛

平成 18 年　4 月　1 日

代表者印

LGWAN-ASP コード	A	○	○	□	□	△	△
登録番号	AN	1	2	3	4	5	6

証明書の種類	∨ Web サーバ証明書　　□ コードサイニング証明書

申請者情報	
組織名	○○－△△－□□
代表者氏名	日本　太郎
管理責任者氏名	日本　一郎

証明書記載事項	
一般名（CN）	www.xxx.asp.lgwan.jp
部門（OU）	

サーバの完全修飾ドメイン名(FQDN)を記入してください。

OU（部門）=なし、CN（一般名）=www.xxx.asp.lgwan.jp の例です。

備考欄

CSR ファイル名:XXX.txt

CSR のファイル名を記入してください。

発行通知

この欄に申請者は、記入しないでください。

(宛先) 申請者

上記のとおり、証明書を発行しました。

発行日　　年　　月　　日

シリアル番号:

ASP 等審査部門責任者　　印

(b) コードサイニング証明書を申請する場合の記載例

第 8 号様式

受付番号:

この欄に申請者は、記入しないでください。

[LGWAN-ASP サービス提供者の証明書利用者用]

証明書 発行申請書

ASP 等審査部門宛

平成 18 年 4 月 1 日

代表者印

LGWAN-ASP コード	A	○	○	□	□	△	△
登録番号	AN	1	2	3	4	5	6

証明書の種類	□ Web サーバ証明書	∨ コードサイニング証明書

申請者情報	
組織名	○○－△△－□□
代表者氏名	日本 太郎
管理責任者氏名	日本 一郎

証明書記載事項	
一般名 (CN)	CodeAdmin of xxx
部門 (OU)	

コード管理責任者の表記は、特段の理由がない限り CodeAdmin 固定としてください。

付録Bの内容を確認した上で、コード管理責任者を表す CodeAdmin of xxx を記入してください。(xxx には、事業者名等を英字で記入してください)
組織名、アプリケーション名も任意で記入可能です。
例) CodeAdmin of xxx ItToukatsu A System
※ItToukatsu が組織名、A System がアプリケーション名を示します。

備考欄

CSR ファイル名 : XXX.txt

CSR のファイル名を記入してください。

発行通知

(宛先) 申請者

上記のとおり、証明書を発行しました。

発行日 年 月 日

シリアル番号:

ASP 等審査部門責任者 印

この欄に申請者は、記入しないでください。

(3) 証明書発行申請書の記載例（一括申請する場合）

複数の申請を一括で行う場合は、必要な情報を別紙に記入し、発行申請書に添付して提出してください。

記載例をそのまま記入して申請しないよう、注意してください。

(a) Web サーバ証明書を申請する場合の記載例

第 8 号様式

受付番号:

この欄に申請者は、記入しないでください。

[LGWAN-ASP サービス提供者の証明書利用者用]

証明書　発行申請書

ASP 等審査部門宛

平成 18 年　4 月　1 日

代表者印

LGWAN-ASP コード	A	○	○	□	□	△	△
登録番号	AN	1	2	3	4	5	6

証明書の種類	∨ Web サーバ証明書　　□ コードサイニング証明書

申請者情報	
組織名	○○－△△－□□
代表者氏名	日本　太郎
管理責任者氏名	日本　一郎

証明書記載事項	
一般名（CN）	別紙参照
部門（OU）	

備考欄

別紙参照

発行通知

この欄に申請者は、記入しないでください。

(宛先) 申請者

上記のとおり、証明書を発行しました。

発行日　　年　　月　　日

シリアル番号:

ASP 等審査部門責任者　　印

別紙

証明書記載事項	
一般名 （CN）	www.xxx.asp.lgwan.jp
部門 （OU）	
備考	CSR ファイル名：CSR01.txt
一般名 （CN）	www.yyy.asp.lgwan.jp
部門 （OU）	
備考	CSR ファイル名：CSR02.txt
一般名 （CN）	
部門 （OU）	
備考	

(b) コードサイニング証明書を申請する場合の記載例

第 8 号様式

受付番号:

この欄に申請者は、記入しないでください。

[LGWAN-ASP サービス提供者の証明書利用者用]

証明書 発行申請書

ASP 等審査部門宛

平成 18 年 4 月 1 日

代表者印

LGWAN-ASP コード	A	○	○	□	□	△	△
登録番号	AN	1	2	3	4	5	6

証明書の種類	□ Web サーバ証明書	∨ コードサイニング証明書

申請者情報	
組織名	○○－△△－□□
代表者氏名	日本 太郎
管理責任者氏名	日本 一郎

証明書記載事項	
一般名 (CN)	別紙参照
部門 (OU)	

備考欄

別紙参照

発行通知

この欄に申請者は、記入しないでください。

(宛先) 申請者

上記のとおり、証明書を発行しました。

発行日 年 月 日

シリアル番号:

ASP 等審査部門責任者 印

別紙

証明書記載事項	
一般名 （CN）	CodeAdmin of xxx
部門 （OU）	
備考	CSR ファイル名：CSR01.txt
一般名 （CN）	CodeAdmin of yyy
部門 （OU）	
備考	CSR ファイル名：CSR02.txt
一般名 （CN）	
部門 （OU）	
備考	

６．３　証明書更新申請書

(1) 証明書更新申請書の記入要領（*は、証明書の種類にかかわらず必須項目です。）
Web サーバ証明書、コードサイニング証明書の場合

第 9 号様式

受付番号:

[LGWAN-ASP サービス提供者の証明書利用者用]

証明書　更新申請書

①*

ASP 等審査部門宛　　申請日　　年　月　日

代表者印
④*

LGWAN-ASP コード②*	A						
登録番号③*	AN						

証明書の種類　⑤*	□ Web サーバ証明書　　□ コードサイニング証明書

申請者情報	
組織名	⑥*
代表者氏名	⑦*
管理責任者氏名	⑧*

証明書記載事項	
一般名（CN）	⑨*
部門（OU）	⑩

備考欄

⑪

更新通知

(宛先) 申請者

上記のとおり、証明書を発行しました。
発行日　　年　　月　　日
シリアル番号:
ASP 等審査部門責任者　　印

①～⑪　本利用者の手引「6.2 証明書発行申請書(1)証明書発行申請書の記入要領」を参照してください。

６．４　証明書失効申請書

(1) 証明書失効申請書の記入要領（*は、証明書の種類にかかわらず必須項目です。）
Web サーバ証明書、コードサイニング証明書の場合

第 10 号様式

受付番号:

[LGWAN-ASP サービス提供者の証明書利用者用]

証明書　失効申請書

ASP 等審査部門宛

申請日 ①* 年　月　日

代表者印
④*

LGWAN-ASP コード②*	A						
登録番号③*	AN						

証明書の種類　⑤*	□　Web サーバ証明書	□　コードサイニング証明書

申請者情報	
組織名	⑥*
代表者氏名	⑦*
管理責任者氏名	⑧*

証明書情報	
シリアル番号	⑨
証明書記載事項	
一般名（CN）	⑩*
部門（OU）	⑪

請求事由　⑫*	□秘密鍵の危殆化（鍵格納媒体の紛失・盗難、PIN の漏えい等） □証明書記載事項の変更 □鍵格納媒体の不良、破損 □証明書の利用停止 □その他（失効事由:　　）	
再発行　⑬*	□　再発行有り（※）	□　再発行無し

※証明書発行申請書を添付してください

備考欄

⑭

失効通知

（宛先）申請者

上記のとおり、証明書を失効しました。
失効日　　年　　月　　日
ASP 等審査部門責任者　　印

① 証明書失効申請書の記載日を記入してください。
② 運営主体から付与された LGWAN-ASP コードを記入してください。
③ 証明書利用情報登録完了通知書に記載されている登録番号を記入してください。
④ 証明書利用情報登録申請時に登録した代表者の印影と同じ印を押印してください。
⑤ 証明書の種類は、下記のとおり記入してください。
・失効対象証明書の種類をチェックしてください。
・失効対象証明書の種類は、１つだけとしてください。
⑥ 組織名を記入してください。
⑦ 証明書利用情報登録申請書に記入した代表者の氏名を記入してください。
⑧ 証明書利用情報登録申請書に記入した管理責任者の氏名を記入してください。(注 1)
⑨ 失効対象証明書のシリアル番号を記入してください。シリアル番号が不明の場合は、記入しなくても構いません。
⑩ 証明書記載事項の一般名は、下記のとおり記入してください。
・発行申請時の証明書発行申請書に記入した一般名を記入してください。
・文字数は、半角 64 文字以内で記入してください。(注 2)
⑪ 証明書記載事項の部門は、下記のとおり記入してください。
・発行申請時の証明書発行申請書に記入した部門を記入してください。
・文字数は、半角 64 文字以内で記入してください。(注 2)
⑫ 該当する失効事由をチェックしてください。該当する事由がない場合は、その他をチェックして失効事由を記入してください。
⑬ 再発行は、下記のとおり記入してください。
・証明書の失効完了後に証明書の再発行を希望する場合は、再発行有りをチェックしてください。この場合、証明書発行申請書を添付してください。(注 3)
・証明書の失効完了後に証明書の再発行を希望しない場合は、再発行無しをチェックしてください。
⑭ 連絡事項等がある場合は、この欄に記入してください。

(注 1)文字の前後に空白を記入した場合、空白は文字として扱いません。
文字中に空白を記入した場合、空白は文字として扱います。
(注 2)記入欄に書ききれない場合は、別紙に記入して証明書失効申請書に添付してください。
【例】
証明書失効申請書

証明書記載事項	
一般名（CN）	別紙参照

別紙

一般名：www.○○○○○○△△△△△△××××××.lgwan.jp

(注 3)証明書発行申請書は、発行申請時と同様に記入してください。

(2) 証明書失効申請書の記載例

記載例をそのまま記入して申請しないよう、注意してください。

Web サーバ証明書、コードサイニング証明書の場合

第 10 号様式

受付番号:

この欄に申請者は、記入しないでください。

[LGWAN-ASP サービス提供者の証明書利用者用]

証明書 失効申請書

ASP 等審査部門宛

申請日平成 18 年 4 月 1 日

LGWAN-ASP コード	A	○	○	□	□	△	△
登録番号	AN	1	2	3	4	5	6

代表者印

証明書の種類	√ Web サーバ証明書	□ コードサイニング証明書

申請者情報	
組織名	○○－△△－□□
代表者氏名	日本 太郎
管理責任者氏名	日本 一郎

証明書情報	
シリアル番号	30313336
証明書記載事項	
一般名 (CN)	www.xxx.asp.lgwan.jp
部門 (OU)	

発行申請時の証明書発行申請書と同じ内容を記入してください。

請求事由	√ 秘密鍵の危殆化(鍵格納媒体の紛失 □ 証明書記載事項の変更 □ 鍵格納媒体の不良、破損 □ 証明書の利用停止 □ その他(失効事由:)	
再発行	√ 再発行有り(※)	□ 再発行無し

※証明書発行申請書を添付してください

備考欄

失効通知

(宛先)申請者

この欄に申請者は、記入しないでください。

上記のとおり、証明書を失効しました。

失効日 年 月 日

ASP 等審査部門責任者 印

(3) 証明書失効申請書の記載例（一括申請する場合）

複数の申請を一括で行う場合は、必要な情報を別紙に記入し、失効申請書に添付して提出してください。

記載例をそのまま記入して申請しないよう、注意してください。

Web サーバ証明書、コードサイニング証明書の場合

第 10 号様式

受付番号:

この欄に申請者は、記入しないでください。

[LGWAN-ASP サービス提供者の証明書利用者用]

証明書 失効申請書

ASP 等審査部門宛

申請日平成 18 年 4 月 1 日

LGWAN-ASP コード	A	○	○	□	□	△	△
登録番号	AN	1	2	3	4	5	6

代表者印

証明書の種類	∨ Web サーバ証明書	□ コードサイニング証明書

申請者情報	
組織名	○○－△△－□□
代表者氏名	日本 太郎
管理責任者氏名	日本 一郎

証明書情報	
シリアル番号	別紙参照
証明書記載事項	
一般名（CN）	別紙参照
部門（OU）	

請求事由	□ 秘密鍵の危殆化（鍵格納媒体の紛失・盗難、PIN の漏えい等） □ 証明書記載事項の変更 □ 鍵格納媒体の不良、破損 □ 証明書の利用停止 □ その他（失効事由: ）	
再発行	□ 再発行有り（※）	□ 再発行無し

※証明書発行申請書を添付してください

備考欄

失効通知

（宛先）申請者

この欄に申請者は、記入しないでください。

上記のとおり、証明書を失効しました。

失効日 年 月 日

ASP 等審査部門責任者 印

別紙

証明書記載事項	
シリアル番号	30313336
一般名 （CN）	www.xxx.asp.lgwan.jp
部門 （OU）	
失効事由	秘密鍵の危殆化（鍵格納媒体の紛失・盗難、PIN の漏えい等）
再発行	再発行有り
備考	
シリアル番号	
一般名 （CN）	www.yyy.asp.lgwan.jp
部門 （OU）	
失効事由	秘密鍵の危殆化（鍵格納媒体の紛失・盗難、PIN の漏えい等）
再発行	再発行有り
備考	
シリアル番号	
一般名 （CN）	
部門 （OU）	
失効事由	
再発行	
備考	

付録 A　使用可能な半角文字

英大文字	「A」「B」「C」「D」「E」「F」「G」「H」「I」「J」「K」「L」 「M」「N」「O」「P」「Q」「R」「S」「T」「U」「V」「W」 「X」「Y」「Z」
英小文字	「a」「b」「c」「d」「e」「f」「g」「h」「i」「j」「k」「l」「m」 「n」「o」「p」「q」「r」「s」「t」「u」「v」「w」「x」「y」「z」
数字	「0」「1」「2」「3」「4」「5」「6」「7」「8」「9」
スペース（空白）	「 」※1
アポストロフィ	「'」
プラス	「+」
コンマ	「,」
ハイフン	「-」
ピリオド	「.」
スラッシュ	「/」
右括弧	「)」
左括弧	「(」
コロン	「:」
等号	「=」
疑問符	「?」
アットマーク	「@」

＊1：スペース（空白）を 2 つ並べた記述（ダブルスペース）は使用不可。

付録Ｂ　Webサーバ証明書及びコードサイニング証明書発行におけるCSRファイルについて

Webサーバ証明書及びコードサイニング証明書の発行においては、証明書発行申請を行う際に証明書利用者が鍵ペアを生成後、CSR ファイルを作成し、登録分局へ送付する必要があります。この際に作成する鍵ペアはRSA暗号アルゴリズム（鍵長2048ビット）により生成し、CSRファイルには、証明書サブジェクトに設定する識別名を付与する必要があります。通常この識別名は、証明書発行申請書に指定する証明書記載事項の英語表記と同じ形式で指定することとします。

CSRに設定できるサブジェクトが定型化されているなどのWebサーバ及び鍵情報等生成ソフトウェアの技術的理由により、証明書発行申請書に指定する証明書記載事項と同様の識別名構造でのCSRファイル作成が不可能な場合は、CSRファイル作成側で指定する識別名の読み替えを行い、ファイル作成を行います。運営主体では、CSRファイルに指定された識別名をそのまま用いてWebサーバ証明書及びコードサイニング証明書証明書を作成します。

表B-1に識別名の読み替え例を示します。

表B-1 読み替えによるCSRファイルのサブジェクト設定例

Webサーバ、鍵情報等生成ソフトウェアが指定する属性型及び属性値の例		読み替え	値の設定例	備考
C	国	国コードをそのまま指定。	JP	
ST または S	都道府県	指定しない。省略不可の場合は、”LGWAN-ASP”を固定で指定。		
L	市町村	指定しない。省略不可の場合は、”LGWAN-ASP”を固定で指定。		
O	組織名	LGWAN-ASP を固定で指定。	LGWAN-ASP	
OU （※1）	部門名	指定しない。省略不可の場合は、事業者名等を指定。		
CN （※1）	Webサーバ	サーバの完全修飾ドメイン名(FQDN)を指定。	www.xxx.asp.lgwan.jp	Web サーバ証明書
	コード管理責任者名	事業者名等及びコード管理責任者を表す CodeAdmin を指定（※2）。組織名、アプリケーション名も任意で指定可能。	CodeAdmin of xxx {組織名}{アプリケーション名}	コードサイニング証明書

（※1） OU、CNの英語表記については64文字以内という制限がありますので、64文字を超える名称等については64文字以内で収まるような名称等への変更をお願いします。
（※2）コード管理責任者の表記は、特段の理由がない限りCodeAdmin固定とします。

なお、コードサイニング証明書の場合は、署名ツールで電子署名を行ったプログラム等を住民・企業等がダウンロードする際、CN に設定した内容が表示される場合があるため、それを考慮したCNとしてください。

付録 C　アプリケーション証明書利用可能アプリケーション

C-1 署名ツール

LGPKI から発行するコードサイニング証明書を利用してプログラム等への電子署名が可能な署名ツールは表 C-1 のとおりです。

表 C-1　コードサイニング証明書を使用した電子署名付与が可能な署名ツール

オペレーティングシステム	署名ツール
Windows7(SP1)(32bit)	署名使用ツール：jarsigner/keytool (jar ファイルに署名) JAVA 環境：Java SE Development Kit 8 Upadate 8 (v8.0.50)